

資料 1

第2次清瀬市商工振興計画素案に係る各委員からのご意見

(事務局編集済み。)

該当箇所	P.42 施策2 市内中小企業の振興 新商品開発支援 P.7 広域ビジネスチャンスについて
御意見	<p>①新商品開発について 少し具体的になったが、市民にはイメージしにくい。清瀬の農産物等を使用した新商品開発だと推察するが、どのような事業への融資なのかイメージしやすい記述をしてはどうか。</p> <p>②広域ビジネスチャンスについて 誰にどのような情報提供をされるのか、もう少し具体的に書いた方が一般市民には理解ができるのではないか。</p>
事務局の見解	<p>①新商品開発について 施策2（4）製品開発及び販路開拓の支援については、各事業所が考えて、分野毎で行う製品開発のことを記載しております。 地域ならではの特産品の開発については、前回委員会にてお示ししたとおり、P.44「地域との連携」について、地場産品を活用とした新製品の開発について追記しました。</p> <p>②広域ビジネスチャンスについて P.7に記載している施策2における広域ビジネスチャンスとは、現行計画において記載しているもので、第2次商工振興計画においては、それに代わるものとして、P.43施策4「地域との連携」に記載しているとおり、多摩地域や西武沿線などの近隣市を含めた多様な主体と連携し、産業振興に取り組むことで広域的なビジネスチャンスを創出したいと考えております。</p>

該当箇所	P45 施策5 観光を通じた商工振興 インバウンド需要の取り込みについて
御意見	インバウンド需要の取り組みには慎重を期して取り組んでほしい。確かに経済的効果はあるが、住民の居住環境は悪化しているのを、京都でコロナ前に体験しており、コロナ後はもっとひどくなっている。清瀬においても、一部の市民には経済的にはプラスとなるかもしれないが、清瀬市の持つ住環境の良さが破壊されてしまう、清瀬に居住を希望するものが減少してしまう恐れがある。慎重なプラン作りが必要と考える。
事務局の見解	外国人観光客の増加に伴い、特定の地域に観光客が集中する「オーバーツーリズム（観光公害）」対策として、ひまわりフェスティバルで行っている、イベント時の事前予約制を導入するなど対策を行いながら施策を実施したいと考えております。

以下、文言等の修正

該当箇所	P.38 施策体系図
御意見	P.38 施策体系図のフォント
事務局の見解	修正します。

該当箇所	<p>P.21 清瀬市住宅工事あっせん事業協力会の職人さん紹介制度</p> <p>P22 修繕・リフォームの際に重視する点について</p> <p>P25 後継者、候補者は決まっていないが、事業を継続したい」と回答した方の相談先</p> <p>P29 商店街活性化のための施策について</p>
御意見	<p>P21 【・清瀬市住宅工事あっせん事業協力会の職人さん紹介について、「知らない」と回答した方が ・7割以上となっており、市報での年4回程の度周知に加え、更なる周知が必要と考えます。】</p> <p>自動付点の機能のための問題かと思われるため、2番目の「・」は不要ではないか</p> <p>P22、P25、P29についても同様</p> <p>※ご提案 全体を通して「・」が無い記載も多く「・」から始まらなくてもよいのではないか</p>
事務局の見解	削除いたします。

該当箇所	計画素案 P.24 業種について
御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・その他内訳主なもの <p>「林業、伐採等3件」とあるが、棒グラフ中の類似業種のまとめは「・」を使っていることから（例：「青果・果物」）以下の記述の方がよいのではないか</p> <p>⇒</p> <p>「林業・伐採等3件」</p>
事務局の見解	修正します。

該当箇所	計画素案 P.33 実施した、または実施している省電力化や脱炭素化への取組について
御意見	<p>「取り組んでいない」（60%）</p> <p>閉じの「」が無い</p> <p>⇒「取り組んでいない」（60%）</p>
事務局の見解	追記します。

該当箇所	計画素案 P.34 (3) 市内消費喚起について P38 施策1.商店街の振興
御意見4	P34 「魅力ある個店等のPR、誘致・創業支援および商品開発などの支援」 以上の「、」「・」の区切りはこれでよいのか 例えば、P38 では「・」となっているので下記の様になる 「魅力ある個店等のPR・誘致・創業支援および商品開発などの支援」 P39 「また、駅周辺については居住・商業・公共機能の立地誘導」 ここでは「・」となっている
事務局の見解	「・」を使用する場合は「、」よりもまとまった印象となるように使い分けを行っております。

該当箇所	計画素案 P.46 (3) インバウンド需要の取り込み
御意見	<p>「令和 6 (2024) 年に<u>入り後</u>、訪日外国人の数は」</p> <p>下線部の意味が分かりづらい</p> <p>⇒</p> <p>「入ったのち、」のことか？</p> <p>= 「入った後」</p>
事務局の見解	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり訂正いたします。</p> <p>⇒ 「令和 6 (2024) 年に<u>入った後</u>、訪日外国人の数は」</p>

該当箇所	計画素案 P.49 (3) 成果指標について
御意見	<p>表中</p> <p>「<u>魅力発信ある個店等の支援</u>」</p> <p>⇒</p> <p>「魅力ある店舗等の支援」では？</p>
事務局の見解	施策毎の成果指標となるため、施策 3 の「魅力ある個店等の支援」に訂正いたします。

該当箇所	①P.14 (2) 従業者数の推移 2行目と6行目下落し ②P.16 3. (1) 消費者アンケート結果について
御意見	P.14 2行目と6行目の下落しの文言は減少しに訂正。 P.16 回答者の年齢構成の割合の無回答は0%に訂正 回答者の居住地の無回答も0%に訂正
事務局の 見解	①ご指摘のとおり訂正します。 ②ご指摘のとおり訂正します。